



刺しゅう制作／佐藤和佳子 バッグ制作／山田あゆみ

<用具>

ソーイング用具

布切はさみ、糸切はさみ、水性チャコペン、
待針、目打、ミシン、アイロン
つまようじ、ペンチなど

刺しゅう針、ビーズ刺しゅう針など

<材料>

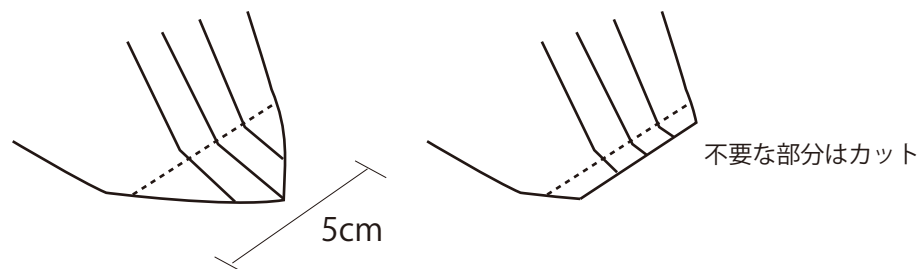
表地 (大きめの柄布) 30cm×42cm
裏地 30cm×42cm
接着キルト芯 26×40cm
口金 18cm
持ち手
紙ひも 30cm×2本
クロバー手芸ボンド<極細ノズル>
刺しゅう糸、スパングルなど適宜

<準備>

表布は、刺しゅうをすることを考えて、少し大きめのアレンジしやすい柄を選び、柄の出かたを考えてしるしをつけます。

<作り方>

- ①表布・裏布は 1cm のぬいしろをつけ、キルト芯はぬいしろなしで裁ちます。
キルト芯を表地にアイロンで貼ります。
- ②表布を中表に合わせて、縫い止まり～縫い止まりまで底の部分を縫い、
ぬいしろをひらいておきます。底の両脇を図のように三角に折って、マチを縫います。



表布を表に返して、ここで刺しゅうをします。

- ③裏布も同じように縫います。
- ④表布と裏布を中表になるように合わせて、返し口 4～5cm を残して
口周りを縫い、ぬいしろは 5mm にカットします。
表に返し、返し口のぬいしろは内側に折り込み、口周りをぐるりと縫います。
- ⑤口金の溝に手芸ボンドをつけ (つけすぎないように注意!)、つまようじでのばします。
- ⑥本体の上端を目打で溝にはめ込んでいきます。中心から入れます。
- ⑦紙ひもを目打で押し込むように入れ、余分なひもをカット。口金の内側 5mm で切ります。
- ⑧口金の端、4カ所を、当て布をしてペンチでつぶし、持ち手をつけて完成です!

<作り方・刺しゅう>

表布の縫製が終わった段階で刺しゅうします。

口周りの縫いしろ 1 cm + 口金に入る 5 mm の部分に刺繍してしまわないよう気を付けてください。

刺しゅうが完成してから裏布ををつけ、仕上げていきます。



柄の輪郭をアウトライン
ステッチ

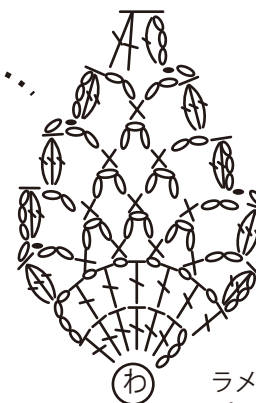


柄に合わせてビーズ刺しゅう、
ストレートステッチ



柄の輪郭に合わせて
クロッシェモチーフを
アップリケ

参考編み図



ラメ糸で
パイナップル編みの
モチーフを編んでいます♪



お花の中心部分にパール
ビーズ



お花部分をスパングルやビーズで
華やかに。茎もビーズ刺しゅう。

柄に合わせて自由にステッチします。
ぬい目のきわに大きなビーズ
をステッチすると、縫いにくく
なることがあります。

【実物大型紙】

クロバー株式会社

刺しゅうのがま口バッグ 3-3

